TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

エペソ人への手紙 ― 恵みのスペクトラム
あなたは今どこにいるのか
エフェソの信徒への手紙 4 章 17 節 – 25 節

2026 年 4 月 25 日 & 26 日
ジェシー・セザリオ　牧師

I. ごあいさつ

共に礼拝を捧げている皆さん、TBC ウエスト トウキョウ、TBC 三郷、スヴァ、そしてトンガ・バプテスト教会の皆さん、おはようございます。
父なる神さまと主イエス・キリストの恵みと平安が、皆さんとともにありますように。皆さんにお知らせしますが、ゴールデンウイークの週が始まる前の今週火曜日、午後 7 時 30 分からここで祈り会を行います。今回の礼拝はレンセイ兄弟が導いてくださいます。ぜひご参加ください。始める前に――祈りましょう。

・主にあって

17 節 ですから、私は主にあって語り、厳しく命じます。あなたがたはもはや、異邦人が空しい考えで歩んでいるように歩んではなりません。パウロが「歩む」と言うとき、それは私たちのライフスタイルのことを意味していることを覚えておいてください。また、4 章がどのような始まり方をしているか強調します。パウロは 1 節でこう言っています。「ですから、主の囚人である私は、あなたがたに勧めます。招かれたあなたがたは、その招きにふさわしく歩み、」
しかしここでパウロは、違ったアプローチで語り始めています。へりくだり、柔和、寛容をもって、愛をもって互いに忍び合うこと、また平和の絆によって御霊の一致を保つよう努めること、そういった指導を続けて語っているのではありません。その代わりに、まず「してはならないこと」を語っています。つまり、私たちのあってはならないライフスタイルを示しているのです。

異邦人のクリスチャンに対して、「異邦人のように行動してはならない」と言っています。これは少し不思議に聞こえます。異邦人のように行動してはいけないというなら、ユダヤ人がこれを聞いたら、「異邦人はユダヤ人のように行動しなさい」と言っているように聞こえるかもしれません。なにしろパウロ自身がユダヤ人だからです。実際、ローマ 11:1 で自分のアイデンティティをこう示しています。
「私もイスラエル人で、アブラハムの子孫であり、ベニヤミン族の者です。」

しかしパウロは、ここでまず理由から語り始めます。この言葉は非常に重要です。「主にあって証しする」と言っています。「主にあって」と言うことで、パウロはユダヤ人と異邦人の両方を、メシアの一つのからだへと結び合わせています。パウロ自身の言葉で言えば、次のように語っています。
「神に対する悔い改めと、私たちの主イエスに対する信仰とを、ユダヤ人にもギリシア人にも力強く証ししてきたのです。」使徒 20:21
しかし同時に、パウロは異邦人をも、イエス・キリストを通してユダヤ人と同じところへ包み込んでいます。つまり、ユダヤ人のメシアであるイエスが今や彼らのメシアでもあるがゆえに、アブラハムの時代から与えられてきた同じ約束の中へと導き入れ、神さまの一つの民としてまとめているのです。

ではパウロは、これら異邦人の信徒たちに、自分自身をどう見ることを望んでいるのでしょうか。パウロが使徒ペテロを叱責したことを覚えていますか。ペテロは、厳格なユダヤ人信徒たちに気を遣って、異邦人のクリスチャンと一緒に食事をするのをやめてしまいました。そこでパウロはこう言いました。「あなたは自分がユダヤ人でありながら、ユダヤ人のように生活しないで、異邦人のように生活しているのに、どうして異邦人にユダヤ人のようになることを強いるのですか。」ガラテヤ 2:14 パウロは、異邦人にユダヤ人の習慣を押しつけるという偽善を、はっきりと指摘したのです。

では、エペソの信徒たちへ「異邦人として自分を認識するのをやめなさい」と言いながら「ユダヤ人になりなさい」という意味ではないとするなら、パウロは何を言おうとしているのでしょうか。彼はこう言います。「異邦人がそのむなしい考え方の中で歩むように歩んではならない」と。

パウロは、この「むなしさ」とは何かを、ローマ 1: 21 で語っています。
21 なぜなら、彼らは神を知りながら、神として崇めることも感謝することもせず、かえって、空しい思いにふけり、心が鈍く暗くなったからです。22 自分では知恵ある者と称しながら愚かになり、23 不滅の神の栄光を、滅ぶべき人間や鳥や獣や地を這うものなどに似せた像と取り替えたのです。24 そこで神は、彼らが心の欲望によって汚れるに任せられ、こうして、彼らは互いにその体を辱めるようになりました。25 節神の真理を偽りに替え、造り主の代わりに造られた物を拝んでこれに仕えたのです。造り主こそ、永遠にほめたたえられる方です、アーメン。

パウロにとって「むなしさ」とは、人間の目的が完全に機能しなくなった状態のことです。つまり、暗くされた考え方が、真理を偽りと取り替え、その結果、愚かさと道徳的な堕落へと導かれることです。なぜなら彼らは、まことの神さまではなく、自分自身を礼拝しているからです。
「むなしさ」とは、真理がまったくないことではありません。真理を知っているのに、まるでそれが真理でないかのように生きることなのです。

最近の統計によると、人気の出会い系アプリの利用者の約半数は、すでに結婚しているか、すでに交際関係にあるそうです。
また、いわゆる一夜限りの関係を目的としたアプリの利用は、この 5 年ほどの間に 300～400%も増加しています。
ポルノの利用も大幅に増加しており、有料利用者は 3 倍になり、収益は 2 倍になっています。

では考えてみてください。こういうことに関わっている人と、真剣な関係を築きたいと思う方々がいるでしょうか。いませんよね。
この事実は、最近娘を乗せて車を運転していたときに流れてきた曲を思い出させます。娘の YouTube のおすすめに出てきた曲でした。私たちはフォレスト・フランクの曲をよく聴くのですが……。
とにかく、その新しい曲の歌詞の中で、女性の歌手がサビで何度も繰り返してこう尋ねるのです。「いい男はどこに行っちゃったのよ!」
その歌詞が出るたびに、私はこう言います。「教会だよ！　いい男は教会に行くんだよ」すると娘は、「はいはい、もうやめてお父さん。分かったよ」と言います。

私が夫婦カウンセリングをするとき、いつもカウンセリングしているカップルに伝えることがあります。それは、二人の愛はお互いだけに向けられるものではなく、まず主を愛し、そして互いを愛する必要があるということです。
なぜなら、二本の矢印だけで結ばれた関係は簡単に壊れてしまうからです。しかし、神さまを頂点とする三つの結びつきは三角形となり、それは壊れにくいのです。皆さんは、三角形が唯一形を変えにくい形だということを知っていましたか。三角形は最も強い多角形であり、曲がったり変形したりしない唯一の形です。そしてそれは、ちょうど三位一体を表している形でもあります。

今日、現代のグローバル化した社会の中で生きるクリスチャンは、時に迷ってしまったように感じることがあるかもしれません。そしてこう自問するのです。「いい良いはどこに行っちゃったのよ！」答えは何でしょうか。私が娘に言ったのと同じです。「教会だよ！みんな教会に行くんだよ。」皆さんが何を考えているか分かります。「そんなの、うますぎる話だ」と。

しかし、ヨハネ 6 章で、世がイエスから離れていったように見えたときについて、こう書かれています。
66 このために、弟子たちの多くが離れ去り、もはやイエスと共に歩まなくなった。67 そこで、イエスは十二人に、「あなたがたも去ろうとするのか」と言われた。68 シモン・ペトロが答えた。「主よ、私たちは誰のところへ行きましょう。永遠の命の言葉を持っておられるのは、あなたです。69 あなたこそ神の聖者であると、私たちは信じ、また知っています。」70 すると、イエスは言われた。「あなたがた十二人は、私が選んだのではないか。ところが、その中の一人は悪魔だ。」

教会は完璧ではありませんし、完璧であることを期待されていません。しかし、教会に集う信徒たちも、十二弟子がそうであったように、完璧だから教会にいるのではありません。それでも彼らと同じように、私たちは一番の目的のために教会に来ています。

私たちは、キリストの内にある者となるために教会に来るのです。
これこそが、この世のむなしさから抜け出す方法です。それはまずキリストのもとに来ることから始まり、そして同じようにキリストとともに歩む信徒の集まる体、すなわち教会にしっかりとつながることによって実現します。

ここで質問です。皆さんは、この信徒の集まりにしっかりとつながっていますか。それとも、この世が出会い系アプリを使うように、他の教会を探し回っているでしょうか。現在 TBC には約 70 のスモールグループがあります。そして平均すると、参加しているのはおそらく 200 人ほどです。これはかなり多めに見積もった数字ですが。しかし、それはつまり、TBC のスモールグループにしっかりとつながっている人が、皆さんのうちの 25%しかいないということです。

スモールグループというものが「作られた仕組み」のように聞こえて、信徒同士の交わりを育てるには、やや不自然で現実味がないように感じられることも分かります。何かプログラムのようで、人工的に思える人もいると思います。その気持ち分かります。

しかし、それがこのような形になっているのは、現代社会がそうなってしまったからです。2026 年の私たちは、日々のルーティンと長時間労働によって、他のすべてのことに対して「時間を作らなければならない」状態になっています。運動するための時間、子どもたちのための時間、友人や配偶者のための時間、忙しい日常の中で起きているあらゆることに対して、時間を作らなければなりません。
ですから確かに、神さまのための時間を作り、神さまの民とともにいるための時間も作らなければならないのです。なぜなら、そうしなければ私たちはそれをしなくなるからです。そして神さまと、その民とともにいないとき、私たちは「キリストにある」状態ではなく、むしろ外に出てしまい、交わりの外にいることになります。
だからこそ私たちは、スモールグループを中心とする教会なのです。スモールグループを優先することで、教会の外にある人間関係とのバランスも保つことができるようになるのです。
しかし、それで終わってはいけません。なぜなら、他の世の人々はむなしさの中で生きているからです。なぜ暗闇の中で、出会い目的のアプリやポルノが増え続けていると思いますか。それは、人々が本当のつながりを必要としているのに、それをどう得ればよいのか分からないからです。

スモールグループは、その答えです。スモールグループは、暗い海から人々を救い出すための救命ボートのようなものです。それこそが、スモールグループの本来の目的の一つです。教会の内外にある壊れた人間関係に対する解毒剤でもあります。
TBC のスモールグループは、会衆と同じように驚くほど多国籍多文化です。世界中から集まった人々によって構成されているスモールグループもあります。私のスモールグループも他のグループと同じように、日本人、フィリピン人、台湾人、中国人、アメリカ人がいます。そして TBC のメンバーではない人も何人かいます。
そして、私たちが一つに集まる理由はただ一つです。それは、私たちがキリストの内にある者だからです。
「ユダヤ人であろうがギリシア人であろうが、召された者には、神の力、神の知恵であるキリストを宣べ伝えているのです。」コリント一 1:24
これが私たちのアイデンティティです。それはこの世の中にあるのではなく、「キリスト内にある」ことにあります。そして私たちは、キリストの内に属しているのです。

ここでの質問は、皆さんは「キリストの内にある者」として生きることに、しっかりとつながっていますか。なぜなら、外ではなく、ここで、この人々の中にあるからです。すべての人が招かれていますが、皆さんの人生にとって本当に必要なのは、外ではなく、この中、この場所にあるのです。

パウロは続けて語ります。
・神さまから離れた民
18 彼らの知性は闇に閉ざされ、内なる無知とかたくなな心のために、神の命とは無縁なものとなっているのです。19 彼らは感覚が麻痺し、放縦に身を任せ、欲望のままにあらゆる汚れた行いにふけっています。

ここでパウロは、信じていない異邦人たちの「むなしい考え方」について、さらに説明を続けています。パウロは彼らについて、「理解が暗闇となり、神さまのいのちから切り離されている」と言っています。
ここで使われている表現は完了形の受動分詞で、こういうことです。
「暗くされてしまっている」
「切り離されてしまっている」

完了形が使われているということは、パウロが言っているのは、これは最近起きたことではなく、過去にすでに起きて完了した出来事であり、その結果が今も続いている状態だということです。彼らは暗くされ、その暗闇の中にとどまり続けています。また、神さまから切り離され、神さまから隔てられたままなのです。
神さまがいない民です。では、彼らはどのようにしてそのようになったのでしょうか。

ギリシャ語で「盲目」を意味する言葉は、「硬さ（無感覚さ）」を意味する言葉と関係があります。言い換えれば、彼らの心は硬くなり、愛とは何かを理解できなくなっているのです。それは神さまの愛であり、神さまの民の愛です。さらに、この状態にある人々は、自分が他者に与えている痛みに対しても鈍感で、無感覚になっています。

19 節にあるように、「感情を失っている」ということです。つまり、憐れみがないということです。しかし、キリストにある者はそうであってはなりません。

＜例え話＞
先日、私は髪を切りに行きました。女性の美容師さんい切ってもらいながら、私は「頭の側面はフェードカットにしてください」とお願いしました。いわゆる“マッシュルームヘッド”にはなりたくなかったからです。
すると彼女は日本語でこう言いました。「グラデーションですかね？」

その瞬間、私は彼女が英語を話したのかと思いました。なぜなら”グラデーション” は英語でもかなり難しい単語だからです。でも彼女は、「いえ、これは普通に使う言葉で、“フェード” は違う意味になります」と言いました。
それで私は、「”グラデーション” という言葉はたぶんラテン語やフランス語から来ているんでしょうね」と言いました。すると彼女は「英語の先生なんですか？」と聞いてきました。私は「昔はそうでした。でも今は牧師です」と答えました。
ここで話が終わると思いましたが、彼女は興味を持って、教会についてさらにいくつか質問してきました。私は教会の YouTube チャンネルを見せました。すると彼女は「え…あなた YouTuber なんですか…？」という感じでした。「まあ…そういうことになりますね」と答えました。

すると彼女が突然こう聞いてきました。
「仏教のライフスタイルと、クリスチャンのライフスタイルの違いって何ですか？」
これを説明するのにどれくらい時間が残っているだろうか、と思いました。私は最後の客で、髪もほとんど切り終わっていて、店を出るまで 30 秒もないくらいでしたし。
そこで私はこう言いました。「クリスチャンのライフスタイルと、他のどんな宗教との違いは、私たちには人生の中に力があるということです。」
「力？どんな力ですか？」
その瞬間、私は少し言葉に詰まってしまいました……それで、とにかく口を開いてこう言いました。
「神さまへの信仰です。そして信仰によって、私たちは“愛の力”を持っています。」
彼女は、「愛の力……？？ 愛の力？」と言いました。

それはおそらく、最高のツカミになったと思います！ まるで『バック・トゥ・ザ・フューチャー』のように。「愛の力」です。次の会話の続きが楽しみです。

しかし、これこそ信仰者が持っているものです。世が理解できないもの、それは「愛の力」です。

では、使徒パウロは何を教えようとしているのでしょうか。
彼は救われていない人々を指さして、「彼らの理解は暗くされている」「神さまのいのちから切り離されている」「無知で、盲目で、心が硬くなり、感覚を失っている」と言っているのでしょうか。彼らが好色に身を委ねたからだ、と責めているのでしょうか。

皆さん、これはパウロが御霊によって世の人々を断罪し、指差しで非難しているのではありません。これはパウロが教会、つまり皆さんに対して警告しているのです。「世の一部のようになってはいけない」と。彼は、パリサイ人のようにさばく者にならないようにと警告しています。

パウロはローマに住む異邦人クリスチャンの高慢について警告しました。
特に、救われていないユダヤ人を見下すことについて警告しました。なぜなら、もしそうするなら、彼ら自身が神さまの民から切り離される危険があるからです。

私たちは、この世の人々や、どの国に対しても、さげすむ目で見てはなりません。
パウロはこう語っています。
ローマ 1:13 -22
13 そこで、あなたがた異邦人に言います。私は、異邦人への使徒として、自分の務めを光栄に思っています。14 何とかして私の同胞に妬みを起こさせ、その幾人かでも救いたいのです。15 彼らが捨てられることが世界の和解となるなら、受け入れられることは死者の中からの命でなくて何でしょう。16 麦の初穂が聖なるものであれば、パン生地もそうであり、根が聖なるものであれば、枝もそうです。17 しかし、ある枝が折り取られ、野生のオリーブであるあなたがそれに接ぎ木され、根から豊かな養分を受けているからといって、18 あなたは、折り取られた枝に対して誇ってはなりません。誇ったところで、あなたが根を支えているのではなく、根があなたを支えているのです。19 すると、あなたは、「枝が折り取られたのは、私が接ぎ木されるためだった」と言うでしょう。20 そのとおりです。ユダヤ人は不信仰のために折り取られ、あなたは信仰によって立っています。思い上がってはなりません。むしろ恐れなさい。21 神が自然に生えた枝を惜しまなかったとすれば、恐らくあなたを惜しむこともないでしょう。22 だから、神の慈しみと厳しさとを考えなさい。厳しさは倒れた者に向けられ、神の慈しみにとどまるかぎり、その慈しみはあなたに向けられるのです。そうでなければ、あなたも切り取られるでしょう。」

この世に、キリストを必要としない人は一人もいません。つまり、今日においても、どの国であってもキリストを必要としない人は一人もいないということです。

パウロはローマ 11 章で最終的な考えをまとめ、預言者イザヤの言葉を引用する前にこう言っています。
32 節 神はすべての人を憐れむために、すべての人を不従順のうちに閉じ込められたのです。

これはローマ 3:23 と似ていますが、少し違う視点があります。人は皆、神の栄光を受けられなくなっていますが―しかしそれは、神さまがすべての人に憐れみを注ぐためなのです。

ヨハネ 3:16「神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。」

皆さんには「自分にはこの人を愛する余裕がない」と感じる相手はいますか。

あるいは、あの人たちには…「時間をかける価値がない」「交わりたくない」と思ってしまうような人々がいるでしょうか。もし、罪と悪を憎まれる義なる聖なる神さまにとってさえ、その人たちが愛と憐れみの範囲を超えていないのだとしたら、どうして私たちが、その人たちを神さまの憐れみと愛から外れた存在として分類できるでしょうか。

あなたの心はそこまで硬いのですか？

私たちは皆、神さまを礼拝することはかなり得意です！ だからこそ TBC には、互いに戦争をしているそれぞれの国から来た人たちが共にいることを目にすることがあります。しかし私たちは、互いに愛し合うという基盤の部分については、まだ取り組む必要があります。

なぜなら、パウロはこれをエペソの人々に語っているだけでなく、皆さんにも語っているからです。パウロは、私たちの心が今でもどれほど悪いかを知っています。パウロは、皆さんが決して完璧ではないことをよく分かっています。しかし同時に、今の自分よりも良くなれる力があると信じています。

面白いことに、自己啓発関連の本やメディア産業について言えるのは、市場そのものは、商品の効果がどれほどないかに依存して成り立っているということです。実際、売上の約 80%はリピーターから来ていると言われています。つまり、1 年半ほど前に自己啓発本を買った人が、また次の本を買うのです。なぜなら、本当に効果があって人々が変わるなら、その業界自体が崩壊してしまうからです。
まさに「むなしさ」ですね！

そして私たちがその人たちをあざ笑うことがないようにと願います。なぜならパウロは、私たちも実は彼らとそれほど変わらないと言っているからです。私たちにも同じ問題があり、同じ葛藤があり、同じ失敗があります。

しかし違いは、私たちの人生には力があるということです。私たちはイエス・キリストを通して、生ける神さまとの関係を持っています。ですから次の質問は、私たちがどのようにして彼らとは違う者として生き、行動できるのかということです。

聖書はこう語っています。
20 しかし、あなたがたはそのようにキリストに学んだのではありません。21 あなたがたは、真理はイエスの内にある、とキリストについて聞き、キリストにおいて教えられたはずです。22 ですから、以前のような生き方をしていた古い人、すなわち、情欲に惑わされ堕落している人を脱ぎ捨て、23 心の霊において新たにされ、24 真理に基づく義と清さの内に、神にかたどって造られた新しい人を着なさい。
これが適用です。

パウロが最初に言うのは、「あなたがたはそのようにキリストに学んだのではありません」ということです。ここでは「キリスト」の前に前置詞がありません。これは単に「キリストにある」という以上の意味を持っています。この言い方によって、パウロはより個人的なものとして語っています。つまり、あなたがたは今、キリストと関係を持っており、単に「キリストにある」というだけではなく、キリストがあなたがたと一つになっている、ということを言っているのです。

“新しい人”は、すべてのクリスチャンの内に存在しています。それはまるで、墓から新しくされてよみがえって出てくるかのように、今にも現れ出ようとしているのです。
そして、死んで腐った肉が剥がれ落ちていくにつれて、あなたの内にある構造―パウロが言う「思考の霊」が現れ出てきて、“新しい人“を身に着けるようになります。その新しい人は、神さまに従ったライフスタイルを生き、真の義と聖さのうちに歩む者です。

そのようにして現れるのは、割礼のように、感情に敏感な心です。死んだ皮膚で硬くなった心ではなく、感じ取ることのできる心です。その状態にあって初めて、私たちはこの世のように、腐敗と偽りの欲の中で生き続けることがなくなるのです。

キリストは死んで、私たちのもとを去られました。私たちはもはや、キリストが近くにおられる状態ではありません。しかし今は、キリストの御霊、すなわち聖霊が私たちの内に住んでおられます。これこそが私たちの真の義であり、神さまから与えられるものです。そして今、主は私たちが行くところどこへでも共に行かれます。

しかし、ここには一つの重要な点があります。覚えておいてください。あなたの外側/周りにいる人々が神の御前に近づくかどうかは、あなたがどこへ行くかにかかっているのです。

つまり、この教会の外にいる人々がイエス・キリストを知るためには、イエス・キリストの大使である私たちを通して起こるのです。だからこそ、私たちは出て行く必要があります。「日曜日だけのクリスチャン」とは、日曜日には聖く見せようとするのに、週の残りの日々は異教徒のように生きる人のことです。しかし同じくらい意味がないのは、週の間、どこへ行っても福音を伝えないクリスチャンです。

＜契約の箱の話＞
皆さんは、第一の神殿、すなわちソロモンの神殿と、第二の神殿、すなわちヘロデの神殿（イエスがそこにおられた時代）の間で、失われていた大きな違いはなにか知っていますか。

おそらく最大の違いは、「契約の箱」がなかったことです。それは失われたのか、破壊されたのか分かりませんが、どこへ行ったのか誰も知りません。まるで跡形もなく消えてしまったかのようです。そして契約の箱が神殿にあったとき、それは石の上に置かれていました。契約の箱の上に何があったか知っていますか。二人の天使です。

キリストが死なれたとき、そのからだは石の上に置かれました。そしてその死体は、やがて跡形もなく消えました。しかしマグダラのマリアが来たとき、彼女が見たものを覚えていますか。墓を守る二人の天使を見たのです。契約の箱が置かれていたその場所は「贖いの座」と呼ばれます。罪の赦しが与えられる場所です。

二人の御使いによって守られていた神さまの御前、地のちりの上に置かれていた贖いの座、その場所が、今やこの世のどこかへと出て行ったのです。それが、皆さんであるはずなのです。

コリント二 5:20 私たちはキリストに代わって使者の務めを果たしています。キリストに代わってお願いします。
ですからクリスチャンの皆さん、そのために今皆さんはここにいます。そして、キリストの大使としてのあなたは、歩き、生きている「契約の箱」のような存在です。内側には神の聖霊が住み、また「贖いの座」を持つ者として、外にいるこの世の人々が神さまと和解し、教会へ来ることができるように、平和をもたらす者とされているのです。
そこでパウロはこう言います。

・結論
25 ですから、偽りを捨て、一人一人が隣人に真実を語りなさい。私たちは互いに体の部分だからです。
注目してください。パウロは「隣人」と言いました。なぜでしょうか。私は、異邦人とユダヤ人の間にある国境の壁を取り除くためだと思います。「隣人」という言葉は本来、距離の近さ、つまり「自分の近くにいる人」を意味しています。では、「私の隣人」とは誰でしょうか。ある人がイエスにこの質問を投げかけました。パウロはコロサイ 4:5 でこう言っています。 時をよく用い、外部の人に対して知恵をもって振る舞いなさい。

私たちは互いに一つのからだの一部です。そして、出会うすべての人に、神さまがどれほど彼らを愛しておられるかという真理を伝えるために召されています。ですから、本当の問いは「あなたは今どこにいるのか」ではなく、「キリストは今どこにおられるのか」ということです。
もしかすると今こそ、私たちがキリストを世に現わす時なのかもしれません。あなたはキリストを世に示しますか。さげすむ目ではなく、憐れみをもって、自分が受けたのと同じ憐れみをもって。
皆さんに言います…。彼らにはそれが必要です。世の中は急速に崩れており、彼らは皆、本当にそれを必要としています。

・招き
ヨハネの福音書で、イエスが最初に隣人たちに投げかけた質問は、基本的にこういうものでした。「あなたは人生で何を追い求めているのか？」
彼らはその問に対してきちんと答えませんでした。さらに質問を返しただけでした。しかし、答えは重要ではありませんでした。
イエスは彼らに、最もふさわしい答えを与えました。「来て見なさい。」そしてまた、「わたしについて来なさい。」と言われました。
これが、イエスがあなたを憐れみ、あなたがイエスを知ることによって変えられることを願うときに語られる言葉です。

落ち込んでいますか。混乱していますか。迷っていますか。疲れていますか。力や愛が足りないと感じますか。あるいは、自分を変えることができないと感じていますか。どうか、来て、見て、そして主とともに歩むよう招きます。
それはとてもシンプルな招きです。ただ主とともに歩き始めることです。そして驚くべきことに、あなたが主にあるなら、主はあなたがどこへ行っても共におられます。
もし皆さんの人生に「愛の力」が欠けているなら、もし憐れみや思いやりが足りず、感覚を失ったような心になっていると感じるなら、この世の救い主であるイエス・キリストに従うよう招きます。

主から皆さんへの約束はこれです。
「あなたがたに新しい心を与え、あなたがたの内に新しい霊を授ける。あなたがたの肉体から石の心を取り除き、肉の心を与える。」
エゼキエル 36:26

イエスを信じ、イエスにとどまり続けてください。
「私を信じる者は、聖書が語ったとおり、その人の内から生ける水が川となって流れ出るようになる。」
ヨハネ 7:38

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書　協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 2018

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

スモールグループ参加申込み

http://t-b-c.us/sgsu

オンライン献金

http://t-b-c.us/give

SG レッスンの PDF

https://gotbc.org/s17 26jp

TBC カレンダー
（TBC のスケジュールが確認できます）
https://tokyobaptist.org/calendar

★クラス 101
教会員になるためのクラス
5 月 17(日)1:00pm – 5:00pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: どなたでも

★クラス 402
キリストの伝え方
5 月31(日)1:00pm – 5:00pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: クラス 101 を修了したメンバーの方

全クラス申し込み:
https://t-b-c.us/classes